

「イタリア料理教室」を開催！

12月6日、日高小学校にて世界の料理教室「イタリア料理教室」が開催されました。20名が参加し、イタリア料理店ヴィアブレラ（札幌市中央区）のシェフ、齋藤博文氏を講師に迎えて、イタリア料理3品を教えていただきました。

参加された皆さんは真剣な表情で講師の説明を聞き、普段とは違う技や料理のポイントなどを教えていただきながら料理を作り、とてもおいしく出来上がりました。

また、地元の食材をメインに料理を作るにあたり、町内の石崎水産と北海道日高乳業（株）にご協力いただき、鮭やチーズなどを提供していただきました。



放課後子ども教室「アスク」木工教室

アスク（門別地区）では、12月7日に「木工教室」を開催しました。教室では「木工房よしの」（新ひだか町）の吉野健さんを講師に招き、ビー玉転がしのおもちゃを作りました。

おもちゃを作る過程では糸ノコや電動ドリルを使う場面もありましたが、講師に教えてもらいながら真剣に取り組みました。沢山の木に触れ「木」という素材の素晴らしさ、「木工」の楽しさを学びました。



放課後子ども教室「アスク」お楽しみ会

アスク（富川地区）では、12月14日に「お楽しみ会」を開催しました。青少年会館を会場に約60名の子ども達が集まり、6つのグループに分かれクリスマスツリーを作りました。3年生は松ぼっくりを木の形になるよう組み合わせ土台を作りました。1～2年生は、ホットボンドやモールで飾りを作りました。

子ども達は、「今年はサンタさんに〇〇お願いしているの～」とクリスマスを楽しみにツリーを作っていました。出来上がったクリスマスツリーは12月25日まで町民センターで展示し、訪れた人の目を楽しませてくれました。



門別ことぶき学園「工場見学」

門別ことぶき学園では、12月10日・18日に「北海道日高乳業（株）工場見学」を開催しました。

日高乳業職員の方に案内していただき、バターやチーズの製造ライン、清涼飲料水の倉庫などを見学しました。地元にある工場とはいえ、なかなか工場内を見学できる機会がないため、参加した学園生50名は「想像していたよりも広い工場なんだな～」「私たちの知らない製品もあったね」と、工場の広さや製品の種類の多いことに興味していました。



奇跡の一本松 保存募金

7万本の松原からたった一本、
津波に耐えた一本松。
私たちに希望を与えてくれた
一本松は、もはや自立が出来ませんが、
復興の象徴として新しい形で残していきたいのです。
みなさんの協力をお願いします。

岩手県陸前高田市長 戸羽 太

被災した陸前高田市街地 (国土地理院提供)

岩手県 陸前高田市

奇跡の一本松

現在この一本松は、大地震による地盤沈下で海水がしみ込み塩分過多の状態となり、徐々に衰弱が進んで枯死にいたってしまいました。そこで、今後も復興の象徴として後世に受け継ぐために、現在の一本松に人工的な処理を加え、モニュメントとして整備することとなりました。この整備にあたっては多額の資金を要しますが、被災地の課題が山積の今、一本松の保存に多額の予算を投じることにはできません。そこで今回「奇跡の一本松保存募金」と称して、全世界へ募金協力をお願いし、一本松の保存および周辺環境整備に充てたいと考えております。

東日本大震災の大津波に耐えた高田松原の一本松は、震災直後から復興のシンボルとして、市民のみならず、全世界の人々から親しまれてきました。

▶ 募金方法

1. 口座振込 (振込手数料はお客様にご負担頂きます)

岩手銀行 口座：岩手銀行 高田支店(033) 普通 2051836
名義：奇跡の一本松保存募金 代表 陸前高田市長 戸羽太

ゆうちょ 口座記号番号：02290-9-127013
名義：奇跡の一本松保存募金

2. 現金

現金書留 現金書留で下記連絡先まで
ご郵送ください。

持参 市役所まで
ご持参ください。

※送付金額、住所、氏名、電話番号を記載した文書を
同封ください。後日、受領書を送付致します。

募金箱 設置のご協力を
お願いしております。

3. クレジットカード決済

f Facebookから「がんばっぺし陸前高田」で検索し、奇跡の一本松保存募金のページにて詳細をご確認ください。

www.facebook.com/RikuzentakataCity